

4-3-6.奄美大島の河川汽水域におけるアマオブネガイ科貝類の分布

山村 秀雄・山本 智子

Distribution of Neritidae species in the brackish-water areas of Amami Island

YAMAMURA Hideo^{*1,*2} and YAMAMOTO Tomoko^{*1}

*1; 鹿児島大学水産学部, *2; 東京大学 大気海洋研究所

*1; *Faculty of Fisheries, Kagoshima University*, *2; *Atmosphere and Ocean Research Institute, The University of Tokyo*

要旨

奄美大島の28水系において、アマオブネガイ科各種の分布調査を行った。1998年-2000年に行われた調査では、33水系から16種が採集されているが、今回の調査では、5種が採集されたのみであった。12種がこの20年間で調査地点から消失したか大幅に個体群規模を縮小させたと考えられた。一方で、2度の調査で分布が確認された5種のうち3種が分布を拡大していた。

はじめに

軟体動物門腹足綱アマオブネガイ科は、熱帯を中心に種分化が著しい分類群の一つであり、日本国内のほぼ全ての種が奄美群島に分布している。本科には希少種が多く含まれ、鹿児島県レッドデータブックでは、9種が絶滅危惧I類やII類に指定された（鹿児島県環境林務部自然保護課 2016）。

アマオブネガイ科は、河川で孵化した幼生が海域に分散し、その後河口付近に着底・遡上する両側回遊型の生活史を持っている。そのため、災害防止のための河川改修や沿岸の埋め立てによって、近年急速に生息地を失いつつある。

増田・早瀬（2000）は、奄美大島の河川でアマオブネガイ科の分布調査を行っているが、その後、様々な形で生息地の改変が行われた。そこで本研究では、奄美大島の河川における本科各種の分布を改めて調査した。

調査地と方法

増田・早瀬（2000）が1998年-2000年に調査を行った33水系から、アクセス可能な28水系を選び、2018年4月28日から5月3日に訪問した。河川内を歩き、河床や河床の転石の上下、人工天然の川堤面を探索し、アマオブネガイ科の種を採集した。

結果と考察

各河川におけるアマオブネガイ科各種の分布の有無を表1に示す。増田・早瀬（2000）では16種の分布が確認されたが、今回は5種しか見られなかった。そのうち、イシマキガイ、カ

Distribution of Neritidae species in the brackish-water areas of Amami Island

ノコガイは分布地点が大幅に増加しており、カバクチカノコとイガカノコは分布地点が減少していた。今回見られなかったツバサカノコ、ヒロクチカノコ、ムラクモカノコ、ヒメカノコの4種は、住用マングロープ内の河川には分布していた（木下ら 2019）。

今回分布が縮小あるいは見られなくなった13種のうち、8種が鹿児島県によって絶滅危惧I類やII類に指定されており、小河川やマングロープの落葉上、石垣の間といった特殊なハビタットに生息するとされている。一方で、分布が拡大した2種は比較的普通種であった。このことから、稀少種が好む特殊な生息環境が消失しつつあると考えられる。

表1 奄美大島各河川におけるアマオブネガイ科の分布。●は増田・早瀬（2000）の分布情報、▲は本調査で分布が確認された事を示す。

出現種	大井川	本龍郷小河川	秋名川	戸口川	田舎川	大川	山田川水路	永田川	三徳山川	知名瀬川	園直川	湯湾釜水路	大和川	毛腫川
コハクカノコ属の一種												●		●
マルアモブネガイ												●		
マングロープアマガイ														
カバクチカノコ														
クリグチカノコ														
ドングリカノコ				●				●▲	▲	●▲	▲	●▲	▲	
ムラクモカノコ														
カバクチカノコ属の一種					●									
ヒロクチカノコ														
ツバサカノコ												●		
オカシマキ										●				
イガカノコ	▲		●	●				●▲	●▲	●▲		●▲	▲	
イシマキガイ	▲	●▲	●▲	▲	●▲	▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲
ハナガスマカノコ						●								
カノコガイ	▲	▲	●▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	●	▲	▲	▲	
ヒメカノコ														

出現種	大金久川	東城郷小河川	山間郷小河川	大川	勝浦川	蘇苅川	金久川	久根津川	阿鉄川	読知川	小名瀬川	部蓮西小河川	平田川
コハクカノコ属の一種													
マルアモブネガイ			●									●	
マングロープアマガイ			●										
カバクチカノコ					●	●	●						
クリグチカノコ					●	●	●						
ドングリカノコ		●											●
ムラクモカノコ					●								
カバクチカノコ属の一種			●		●								
ヒロクチカノコ			●		●								
ツバサカノコ			●		●								
オカシマキ													
イガカノコ		●▲	●▲	●	●	●▲	●		●▲			●	●▲
イシマキガイ	●▲	●▲	▲	●▲	●▲	●▲	●▲	●▲	▲	▲	▲	▲	▲
ハナガスマカノコ													
カノコガイ		●▲	●▲	●▲	▲	▲	●▲	●▲	▲	▲		▲	
ヒメカノコ			●										

引用文献

鹿児島県環境林務部自然保護課（2016）改訂・鹿児島県の絶滅のおそれのある野生動植物レッドデータブック。

木下そら・遠藤雅大・野村淳一郎・山村秀雄・川瀬誉博・山本智子（2019）住用マングロープ林におけるアマオブネガイ科貝類の分布。Nature of Kagoshima, 45; 345-351

増田修・早瀬善正（2000）奄美大島産陸水性貝類相。兵庫陸水生生物, 51・52: 305-343